

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札
 コード番号 3136 URL http://www.eco-nos.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)新行内 宏之 (TEL) 011-875-1996
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	963	△1.0	13	-	2	-	△21	-
30年3月期第1四半期	973	△3.2	△15	-	△31	-	△31	-

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △21百万円 (-%) 30年3月期第1四半期 △33百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△25.00	-
30年3月期第1四半期	△36.44	-

(注) 平成30年3月期第1四半期及び平成31年3月期第1四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,519	261	10.4
30年3月期	2,530	281	11.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 261百万円 30年3月期 281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,854	△1.9	6	-	△16	-	△23	-	△27.58
通期	3,708	△3.1	73	-	30	-	18	-	21.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	868,048株	30年3月期	859,398株
31年3月期1Q	199株	30年3月期	139株
31年3月期1Q	861,302株	30年3月期1Q	859,259株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善により、個人消費に回復の兆しがみえるなど、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

一方で、米国に端を発した貿易摩擦問題や朝鮮半島の情勢不安などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、前連結会計年度に実施いたしました経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減され、利益額が増加いたしました。リユース事業におきましては、EC事業部による新品商材のインターネット販売事業の撤退により、売上高は前年同四半期に比べ若干減少しましたが、既存店舗の売上高が堅調だったことにより、概ね計画通りに推移いたしました。また、低炭素事業におきましては、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高963,953千円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益13,530千円（前年同四半期は営業損失15,813千円）、経常利益2,101千円（前年同四半期は経常損失31,583千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失21,533千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失31,312千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次の通りであります。

(リユース事業)

リユース事業におきましては、EC事業部による新品商材のインターネット販売事業の撤退により、売上高は前年同四半期に比べ若干減少しましたが、既存店舗の売上高が堅調だったことにより、概ね計画通りに推移いたしました。また、前連結会計年度に実施いたしました経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減され、利益額が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高908,636千円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益は99,628千円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下の通りであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	13	16	15	1	45	62

(注) ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

(低炭素事業)

低炭素事業におきましては、売上高が前年同四半期を上回ったことと、前連結会計年度に実施いたしました経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減されたことから、営業損失は改善いたしました。

PPS（特定規模電気事業者）等を中心として、カーボン・オフセットの需要は引き続き旺盛でありますので、当社グループとしましては、カーボン・オフセットの仕入を円滑に行うことにより、業績を回復させ、利益の確保に努めてまいります。

なお、カーボン・オフセット・プロバイダー事業につきましては、年度上期に受注して年度末に業務が完了する契約が多いという特徴があります。そのため、売上計上までに経費が先行して計上され、第3四半期連結累計期間までは営業利益のマイナスが続く傾向があります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高47,458千円（前年同四半期比27.7%増）、セグメント損失は15,828千円（前年同四半期はセグメント損失27,327千円）となりました。

(その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を含んでおります。

リペア事業に関しましては、平成30年3月に1店舗のiCracked Japan株式会社への移管及び1店舗の退店を行うことによって、札幌ロフト店の1店舗に事業を集約いたしました。それにより固定費の削減を行い、本セグメントの営業損失は改善いたしました。

以上の結果、本セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は売上高7,858千円（前年同四半期比48.9%増）、セグメント損失は156千円（前年同四半期はセグメント損失5,274千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,279,749千円となり、前連結会計年度末と比べて12,574千円の減少となりました。これは、主に売掛金の減少31,618千円、前払費用の減少4,344千円及び現金及び預金の増加37,231千円によるものです。

また、当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、1,240,004千円となり、前連結会計年度末と比べて2,135千円の増加となりました。これは、主に建物及び構築物の増加47,425千円、敷金の減少19,904千円、繰延税金資産の減少15,691千円及びリース資産の減少4,591千円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、906,530千円となり、前連結会計年度末と比べて1,163千円の減少となりました。これは、主に未払金の減少14,003千円、未払法人税等の減少6,550千円、未払消費税等の増加8,200千円、未払費用の増加6,262千円及び賞与引当金の増加5,536千円によるものです。

また、当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、1,351,377千円となり、前連結会計年度末と比べて10,117千円の増加となりました。これは、主に資産除去債務の増加23,115千円、繰延税金負債の増加5,614千円、長期借入金の減少11,142千円及びリース債務の減少4,011千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、261,846千円となり、前連結会計年度末と比べて19,393千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失21,533千円の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日付の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	429,316	466,547
売掛金	98,337	66,718
たな卸資産	692,705	692,919
前払費用	53,614	49,270
その他	18,350	4,293
流動資産合計	1,292,324	1,279,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	95,453	142,879
工具、器具及び備品(純額)	104,020	99,666
土地	115,483	115,483
リース資産(純額)	507,617	503,026
その他(純額)	2,683	2,602
有形固定資産合計	825,258	863,658
無形固定資産		
その他	2,549	1,997
無形固定資産合計	2,549	1,997
投資その他の資産		
投資有価証券	30,743	30,035
敷金	305,447	285,543
繰延税金資産	15,691	-
その他	58,177	58,769
投資その他の資産合計	410,059	374,348
固定資産合計	1,237,868	1,240,004
資産合計	2,530,192	2,519,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,349	4,924
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	16,600	16,600
1年内返済予定の長期借入金	208,606	209,322
リース債務	33,830	35,345
未払金	83,727	69,723
未払費用	62,679	68,942
未払法人税等	13,126	6,575
未払消費税等	19,382	27,583
賞与引当金	-	5,536
ポイント引当金	5,354	3,413
その他	8,036	8,564
流動負債合計	907,693	906,530
固定負債		
社債	75,300	75,300
長期借入金	477,972	466,830
リース債務	617,670	613,659
長期末払金	57,001	53,809
長期前受収益	1,896	1,426
退職給付に係る負債	43,835	44,038
資産除去債務	65,981	89,096
繰延税金負債	701	6,315
その他	900	900
固定負債合計	1,341,259	1,351,377
負債合計	2,248,953	2,257,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,813	212,123
資本剰余金	159,140	160,450
利益剰余金	△91,783	△113,317
自己株式	△69	△102
株主資本合計	278,100	259,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,794	3,292
為替換算調整勘定	△655	△599
その他の包括利益累計額合計	3,139	2,693
非支配株主持分	-	-
純資産合計	281,239	261,846
負債純資産合計	2,530,192	2,519,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	973,469	963,953
売上原価	322,845	311,597
売上総利益	650,624	652,355
販売費及び一般管理費	666,437	638,824
営業利益又は営業損失(△)	△15,813	13,530
営業外収益		
受取配当金	870	803
受取手数料	2,196	2,149
協賛金収入	435	842
その他	1,817	2,652
営業外収益合計	5,319	6,447
営業外費用		
支払利息	18,502	17,062
その他	2,586	814
営業外費用合計	21,089	17,877
経常利益又は経常損失(△)	△31,583	2,101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,583	2,101
法人税、住民税及び事業税	998	2,064
法人税等調整額	1,305	21,570
法人税等合計	2,303	23,635
四半期純損失(△)	△33,887	△21,533
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,574	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,312	△21,533

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△33,887	△21,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	△502
為替換算調整勘定	△95	56
その他の包括利益合計	69	△446
四半期包括利益	△33,817	△21,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,243	△21,979
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,574	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	931,014	37,177	968,192	5,277	973,469	-	973,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	931,014	37,177	968,192	5,277	973,469	-	973,469
セグメント利益 又は損失(△)	89,251	△27,327	61,924	△5,274	56,649	△72,463	△15,813

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△72,463千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	908,636	47,458	956,094	7,858	963,953	-	963,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	908,636	47,458	956,094	7,858	963,953	-	963,953
セグメント利益 又は損失(△)	99,628	△15,828	83,800	△156	83,643	△70,112	13,530

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△70,112千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。